

配布方法は、nankr が関係を構築しているゲイ向けイベントにおいて、アンケートの案内カードを配布し、回答者は QR コードや URL からアンケートサイトに直接アクセスをした。

対象者がアンケートサイトにアクセスし、回答を入力すると、(株) マイビジネスサービスの管理するサーバに情報が蓄積される仕組みとした。回答に協力したのものには謝礼として、ゲイ向け商業施設利用のドリンク料金ディスカウントチケットをメールで配布した。全回答数は 264 件(重複回答を除く)であった。

本報告は複数回答者、年齢無回答を除き、沖縄県在住のゲイまたはバイセクシュアル男性または MSM の 213 名を対象とした。年齢層は 29 歳以下、30-39 歳、40 歳以上の 3 カテゴリーに分類し、分析を行った。

比較対象として、GCQ アンケート福岡 2011 結果を用いた。

## 2. 研究期間

2011 年 10 月 2 日、10 月 9 日、10 月 23 日実施

## 3. 実施地域

沖縄県那覇市において開催されたゲイ向けイベント会場にて実施した。

## 4. アンケート内容

質問紙構成は、基本属性、利用施設、予防介入プログラムへの接触状況、HIV 抗体検査の受検経験、性感染症の既往、性行為経験およびコンドームの使用頻度、性交時の併用品など計 39 問であった。データの集計には SPSS19.0ver を使用した。

本研究実施計画については名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た (ID 番号 08008)。

## C. 研究結果

### 1. アンケート回収数

213 部回収された。

### 2. 回答者の属性

有効回答者数は 213 人で、年齢階級別の分析結果を表 7-11 に示した。29 歳以下 (以下 Y 群) は 106 人 (49.8%)、30-39 歳 (以下 M 群) は 78 人 (36.6%)、40 歳以上 (0 群) は 29 人 (13.6%) であった。セクシャリティの自認はゲイを自認するのが 85.0%であり、次いでバイセクシャルが 13%であった。

### 3. 同居人数に関する事項

沖縄県では家族と同居の割合が高く、特に Y 群では福岡県の 1/3 であった (図 1)。

### 4. 雇用形態に関する事項

沖縄県では正規雇用は非正規、就労無しがどの群でも福岡県より高かった (図 2)。

### 5. 利用施設に関する事項

過去 6 ヶ月間のゲイバー利用率は全群で低く特に Y、M 群で福岡県より半分と低かった (図 3)。一方、有料のハッテン場、その他のハッテン場を含めて沖縄県では利用率が高い傾向にあった (図 4)。サイト利用率は若年層ほど活発に利用していた (図 4)。

### 6. HIV 検査受検に関する事項

1) 受検希望は 87%と高く、実際の受検率も 67%であり、福岡県と同等であった (図 5、6)。受検率は年齢の高さと相関していた。

2) 受検場所は保健所が半数を占め、福岡県と同等であった。0 群では保健所の即日検査受検は 9.1%と低く、病院での受検が他の群と比較して 3 倍程度高く、福岡県よりも 2 倍高かった (図 7)。郵送・自宅検査キットの利用率は 0%であった。

3) 過去 1 年間の受検率は M 群で福岡の 2 倍程度高かった (図 8)。過去 1 年間に限定した受検場所は図 7 と同等であった (図 9)。

### 7. HIV 関心度に関する事項

1) 身近に HIV 感染者がいると感じるかに関しては全体で福岡県より低かった (図 10)。いると回答した割合は年齢の高さと

相関して上昇したが、福岡県と同様であった（図 10）。

2) パートナーと HIV に関して話題にした経験では、福岡県と比較して Y 群で 60%と低かった（図 11）。

3) 友人と HIV に関して話題にした経験では、パートナーと同様に福岡県と比較して Y 群で 10%低かった（図 12）。0 群でもパートナーと異なって友人と話題にすることは福岡県よりも 10%と低かったが、M 群ではどちらも福岡県よりも高かった。

8. 性行為感染症（Sexually Transmitted Infections : STI）に関する事項  
STI の罹患歴は福岡県よりも 10%低かった（図 13）。

9. コンドーム使用状況に関する事項

1) コンドーム使用意思に関しては Y 群は 2 県で差は認めなかったが、M 群では福岡県よりも 20%以上高く、0 群では逆に 10%低かった（図 14）。

2) コンドームの実際の使用状況（図 15）では沖縄県は M 群では 10%程度低下するも、0 群では逆に 10%程度上昇した。コンドームやローションが手元にあった割合は両県で差はなかった（図 16）。

3) 恋人で無い特定の相手とのコンドーム使用状況（図 17）では、M 群、0 群では 2 県で差が無かったが Y 群では福岡県よりも 20%とも高かった。

4) その場限りの相手とのコンドーム使用状況は 3) と同じく Y 群では常用率が沖縄県に高かった（図 18）。

10. 薬物併用経験

M 群では沖縄県が経験無しが 10%と高かった。

11. コンドーム購入経験

2 県で差は認めなかった。

12. オンラインアンケート REACH Online 2011 の回答率

Y、M 群で博多の半分程度であった。

## D. 考察

今回のアンケートは同研究を実施している博多地域と比較し、沖縄県特有の状況が顕在化した。

Y 群では一人暮らしの割合が博多より 1/3 少なく、正規雇用の割合も 30%程度低かった。就職率が低い県内の雇用状況の中、経済的に自律困難な状況で親との同居率が高く、それが地方の特殊性としてプライバシー情報の開示に抵抗があることが推察され、対面型の商業施設以外の場所でのアプローチ方法の開発が必要と思われた。

Y、0 群ではゲイバーの利用率が博多より低く、性的に活発な M 群では逆に高かった。

M、0 群では野外ハッテン場の利用率が博多の 3~4 倍高かった。有料のハッテン場の割合も高い割合を占めており、この施設に対する予防啓発プログラムの必要性も表面化した。

出会いのための電子情報ツールは若い年代ほど活発に利用され、この群に対しては効率的な予防啓発プログラムの提供の可能性はあるが、40 歳以上の群では、アナログ的な手法が必要と思われる。

HIV 検査受検の希望が 0 群で博多より 23 ポイント高く、実際に直近を含めて HIV 検査受検歴が全ての群で博多より高かったことは好ましい結果といえる。

身近な知り合いで HIV 陽性者がいる割合は Y、0 群で博多より低く、沖縄県の HIV 感染率が高いことは実感されていない可能性がある。一方、性的に活発とされる M 群では両県に差は認めなく、この群においてはリスクに関してはある程度啓発活動が浸透していると思われる。

友達や知り合いと HIV の話題をする割合が博多より Y 群で低かったことは、この群に対

するアプローチ方法が特に重要と思われる。

コンドーム使用状況に関しては、HIV に関して意識が低い Y 群が利用率が高い理由は不明である。

県内におけるセックスドラッグの使用実態が明らかになった。福岡県に比較して利用率は低かった。静注薬物使用者は認めなかったが、場の安全の担保に不安があるアンケート調査の限界を示している可能性がある。

## E. 結語

親との同居率が高く、それが地方の特殊性としてプライバシー情報の開示に抵抗があることが推察され、対面型の商業施設以外の場所でのアプローチ方法の開発が必要と思われた。

## 研究Ⅱ.

### A. 研究目的

地方都市である沖縄県の MSM の HIV の予防啓発プログラムの開発。

### B. 研究方法

1. コミュニティセンター運営
2. HIV 予防啓発プログラム
3. mabui への誘導プログラム
4. ゲイバーへのアプローチ
5. ゲイバーへ行かない層へのアプローチ
6. インターネット利用者層へのアプローチ
7. 沖縄に観光で訪れる方へのアプローチ
8. 新しい媒体への取り組み
9. 行政との連携

### C. 研究結果

1. コミュニティセンター運営  
・コミュニティセンター mabui の利用状況

#### 1) 月別来場者数と新規来場者数(図 22)

5 月までは金土日の週 3 オープンであったが、コミュニティからの要望もあり 6 月

より木曜日もオープンとし、週 4 とした。

#### 2) オープンスペース (図 23)

mabui ではカフェコーナーの他にオープンスペースを設けている。イベント時に利用したり、大きなイベントの時はカフェコーナーと繋げて使うことも可能。また、貸出も行っている。オープンスペースに行く際は資材が置いてあるコーナーを通らなければならない工夫をしている。

#### 2. HIV 予防啓発プログラム (表 1)

6 月より砂川秀樹氏を招き偶数月の第 3 日曜日に「エイズと『ゲイコミュニティ』」と題していろいろな角度から HIV について考えられるようテーマを設定し 5 回シリーズで講演を行った。

#### 3. mabui への誘導プログラム (表 2)

奇数月の第 3 日曜日には mabui に来場したことのない人を mabui に誘導することを主な目的としたイベントを行った。なるべく啓発色を前面にださないようにした。

参加型でコミュニティのニーズである出会いを盛り込んだイベントには多くの参加者がありこれを機に mabui を知り足を運ぶ人もいた。また、イベント最後には mabui の説明や今後のイベントの告知をすることで次に繋げることはできた。

#### 4. ゲイバーへのアプローチ

##### 1) コンドーム (図 24)

引き続き nankr 童(わらばー)というチームを組みポロシャツのユニフォームを着て 2 週間に 1 度本島内の全ゲイバー(那覇市 31 軒 沖縄市 7 軒)へオリジナルパッケージコンドームの補充を行っている。離島にある全ゲイバー(宮古島 1 軒 石垣島 2 軒)にはそれぞれ協力してくれる方をリクルートしコンドームが少なくなると連絡をもらい郵送をするようにしている。またコンドームのパッケージを継続して実家に住む県内在住者にも持って帰りやすく、観光客には

お土産にもなるように沖縄の景色をデザインにもちいている。

## 2) コミュニティペーパー「nankr」

前年度までは1年に1回のペースでの発行であったが、今年度は4回の発行を計画。また、2面を特集ページとし啓発色を今までよりも濃くすることとした。発行部数は3000部を基本とした。コンドームを設置しているゲイバーに加えゲイアダルトショップ1軒、発展場5軒、ゲイ専用宿泊施設2軒にも設置をしてもらっている。

## 5. ゲイバーへ行かない層へのアプローチ

### 1) クラブイベント

沖縄県内ではゲイオンリーとMIXのゲイクラブイベントがある。ゲイオンリーのみにトイレにオリジナルパッケージコンドームを入口にコミュニティペーパーを設置。自由に持って帰れるようにした。

### 2) 沖縄ゲイ裏掲示板への書き込み

沖縄で一番利用者の多い掲示板へ管理人の許可を得て、イベントや検査会告知の書き込みを行った。

### 3) 発展場及びショップにポスターやコミュニティペーパーの設置

県内にある有料発展場全5軒及び全ゲイショップ1軒（あと1軒はゲイバーと併設のためここではカウントせず）のオーナーやスタッフとコミュニケーションを取り、ポスター掲載及びコミュニティペーパーの設置を行っている。

### 6. インターネット利用者層へのアプローチ

前研究班から引き継ぎがうまくいかず7月よりホームページを再開した。ホームページにはHIV検査情報の他、mabuiでのイベント情報を掲載（図25）。12月より沖縄で一番利用者の多い掲示板へのバナー掲載を行った。

### 7. 沖縄に観光で訪れる方へのアプローチ

沖縄には人口の割にゲイ商業施設が多い。それは観光客が多く県外のゲイも沖縄のゲ

イコミュニティの構成員と言える。そのため観光客（沖縄を訪れる県外の方）へのアプローチも行っている。

### 1) スポーツ大会

県外からの参加者も多いスポーツ大会において開会式に時間をもらい、nankrの活動やmabuiの説明を行い、コミュニティペーパーとオリジナルパッケージコンドームのセットを参加者全員に配布した（表4）。

### 2) ビーチパーティ（表5）

沖縄県内では各ゲイバー主催のビーチパーティ（海でBQQ）が行われる。その中でも最大の300人以上が参加するビーチパーティ（県外からの参加者は半分以上）の送迎バスの降車時にスタッフがオリジナルパッケージコンドームとコミュニティペーパーのセット資材を配布。

### 3) 県外沖縄系クラブイベント（表6）

沖縄好きのMSMが参加すると思われる新宿2丁目で行われた沖縄系クラブイベントにおいて、オリジナルパッケージコンドームとコミュニティペーパーのセット資材を配布してもらった。

沖縄へ観光に来てコミュニティセンターへわざわざ行くというのは難しいと思うが、やはり観光客の多い7月には県外からの来場者が多くなっている。地道ではあるが、口コミも含め県外からの観光客へのアプローチも続けていく（図26）。

## 8. 新しい媒体への取り組み

### 1) ツイッター

本格的始動は11月である。オープン告知やイベント情報などをツイートしながら、フォロワーとのコミュニケーションもとるようにした。1月31日現在のフォロワーは284人である。

### 2) メルマガの開設

10月よりnankrのメルマガ「オキマガ」を開設した。県内のゲイイベントなど一

緒に nankr や mabui、検査情報などを送信する。メルマガの広報については主にコミュニティペーパーで行ない。来場者へは登録を進めるようにした。1月31日現在の登録者数は35人である。

## 9. 行政との連携

### 1) 沖縄県主催 MSM を対象として検査会

11月20日に中部福祉保健所で行われた MSM を対象とした検査会（梅毒・B型肝炎・C型肝炎も無料で受けられる）において打合せの段階から関わり、主に広報を担当した。広報はポスター・フライヤーの作成と配布、HP、掲示板へのバナー広告掲載を行った。受検者は19名で陽性者は1名であった。

### 2) 沖縄県と（公財）エイズ予防財団共催の MSM を対象とした検査会

1月4日より中央保健所にて MSM を対象とした検査会（梅毒・B型肝炎・クラミジアも無料で受けられる）を実施。nankr は県・保健所との調整や広報を担当した。

### 3) ブラジル人陽性者との交流

12月14日ゲイであり HIV 陽性者でもあるジョゼ・アラウージョ・フィーリョ氏を県の予算で招き、mabui にてブラジルカフェを開催。来場者11名（うち新規来場者5名）でブラジルの HIV 予防活動の現状や保健制度などについて学んだ。

## D. 考察

### 1. コミュニティセンター運営

来場者数は7月をピークに減少傾向にある。新規来場者はコンスタントに来てはいるが、今後はリピーターを増やす戦略を考える必要がある。

オープンスペースはゲイのダンスサークルやエイサーグループ、クラブイベントの出演者が練習などに利用することが多く、そこから mabui のイベントに参加協力するメンバーもいる。

### 2. HIV 予防啓発プログラム

参加者は多くはないもののシリーズで行うことにより継続的に参加する方もいた。また、参加者だけではなく、スタッフが知識を得るいい機会となったり、ファシリテーターをすることでスタッフのスキルアップにもつながった。

### 3. mabui への誘導プログラム

参加型でコミュニティのニーズである出合いを盛り込んだイベントには多くの参加者がありこれを機に mabui を知り足を運ぶ人もいた。また、イベント最後には mabui の説明や今後のイベントの告知をすることで次に繋げることはできた。

### 4. ゲイバーへのアプローチ

2週間に1度ゲイバーに同じユニホームを着て顔を出すことでマスターにもお客さんにも覚えられてきた。観光客のお土産にもなるコンドームやゲイマップの載っているコミュニティペーパーはお店に重宝がられている。

新規オープンのお店へのアウトリーチもスムーズで県内のゲイバーではコンドームを設置するのが当たり前になっている。新規オープンのお店が nankr に挨拶に来た例もある。

### 5. ゲイバーへ行かない層へのアプローチ

掲示板からイベントへの問い合わせが多く寄せられ、掲示板からイベントへの参加もある。また、発展場やショップに設置しているコミュニティペーパーを見て mabui に来場する人もいた。

ゲイバーにはあまり行かない層への nankr 及び mabui の周知を図る事が少しずつできていく。

### 6. インターネット利用者層へのアプローチ

ホームページへのアクセスは増加傾向にある。12月から沖縄裏掲示板へのバナーを掲載し掲示板からのアクセスは12月で32%、1月

は46.8%であった。

11月からの増加分のほとんどに当たる。掲示板へのバナー掲載は継続的に行うことが有効的であると思われる。

#### 7. 沖縄に観光で訪れる方へのアプローチ

沖縄へ観光に来てコミュニティセンターへわざわざ行くというのは難しいと思うが、やはり観光客の多い7月には県外からの来場者が多くなっている。地道ではあるが、口コミも含め県外からの観光客へのアプローチも続けていく。

#### 8. 新しい媒体への取り組み

ツイッターやメルマガからmabuiに訪れる人もでてきた。メルマガについては、情報の提供をゲイバーなどに行うことでコミュニケーションをとるきっかけとなっている。

#### 9. 行政との連携

少しずつではあるが、行政との連携が取れつつある。今後は更に行政に働きかけ協働で取り組んでいきたい。また、ブラジルカフェでは多くの新規来場者をmabuiに誘導することができた。

### E. 結語

nankr は2週に一度のゲイバーへのコンドーム配布、クラブイベント、スポーツ大会へ出向いての啓発資材配布設置など、コミュニティでの認知は少しずつ高くなってきている。だが、陽性者の減少まではまだ至っていない。

今後は人材の育成と更なる啓発プログラムの開発が必要である。

### F. 個人情報の管理について

1. 個人情報の紛失、流出、改ざんおよび漏洩などを防ぐため、個人情報を保有するのは研究代表者と研究分担者のみとし、情報管理上問題は発生しなかった。

2. 法令等の順守について

個人情報保護に関して適用される法令、国のガイドラインを熟読し順守した。

### G. 発表論文等

(論文発表)

1. Teruya H, Tateyama M, Hibiya K, Tamaki Y, Haranaga S, Nakamura H, Tasato D, Higa F, Hirayasu T, Furugen T, Kato S, Kazumi Y, Maeda S, Fujita J: Pulmonary Mycobacterium parascrofulaceum infection as an immune reconstitution inflammatory syndrome in an AIDS patient, Intern Med, 49, 1817-21, 2010
2. 健山正男: 日本におけるHIV診療の現況, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 40, 15-21, 2010
3. Hideta Nakamura, Masao Tateyama, Daisuke Tasato, Syusaku Haranaga, Satomi Yara, Futoshi Higa, Yuji Ohtsuki, Jiro Fujita: Clinical utility of serum  $\beta$ -d-glucan and KL-6 levels in *Pneumocystis jirovecii* pneumonia, Intern Med, 48, 195-202, 2009
4. Hibiya K, Kazumi Y, Nishiuchi Y, Sugawara I, Miyagi K, Oda Y, Oda E, Fujita J: Descriptive analysis of the prevalence and the molecular epidemiology of Mycobacterium avium complex-infected pigs that were slaughtered on the main island of Okinawa, Comp Immunol Microbiol Infect Dis, 33, 401-21, 2010
5. Hibiya K, Utsunomiya K, Yoshida T, Toma S, Higa F, Tateyama M, Fujita J: Pathogenesis of systemic Mycobacterium avium infection in pigs through histological analysis of hepatic lesions, Can J Vet Res, 74, 252-7, 2010

6. Satoshi Toma, Tsuyoshi Yamashiro, Shingo Arakaki, Joji Shiromal, Tatsuji Maeshiro, Kenji Hibiya, Naoya Sakamoto, Fukunori Kinjo, Masao Tateyama, and Jiro Fujita: Inhibition of intracellular hepatitis C virus replication by nelfinavir and synergistic effect with interferon- $\alpha$ , J Viral Hepat, 16, 506-12, 2009

(報告書)

1. ○健山正男, 宮川桂子, 仲村秀太, 田里大輔, 比谷健司, 原永修作, 比嘉太, 藤田次郎, 宮城京子: 沖縄地域における男性同性間の HIV 感染予防介入研究—沖縄県の男性同性愛者の HIV 検査受検率向上のための調査—, 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究 平成 21 年度 総括・分担研究報告書, 77-88, 2010
2. 健山正男, 比嘉太, 原永修作, 田里大輔, 仲村秀太, 前城達次, 山城剛, 宮城京子, 日比谷健司, 藤田次郎: 沖縄における薬剤耐性 HIV の調査研究, 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 薬剤耐性 HIV の動向把握のための調査体制確立及びその対策に関する研究 平成 21 年度総括・分担研究報告書, 120-123, 2010
3. ○健山正男, 仲村秀太, 田里大輔, 日比谷健司, 原永修作, 比嘉太, 藤田次郎, 宮城京子: 沖縄地域における男性同性間の HIV 感染予防介入研究, 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業. 男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究 平成 20 年度 総括・分担研究報告書, 75-82, 2009
4. 健山正男, 比嘉太, 原永修作, 田里大輔, 仲村秀太, 前城達次, 山城剛, 宮城京子, 日比谷健司, 藤田次郎: 沖縄における薬剤耐性

HIV の調査研究, 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 薬剤耐性 HIV の動向把握のための調査体制確立及びその対策に関する研究 平成 20 年度総括・分担研究報告書, 90-93, 2009

(学会発表)

1. 健山正男, 井濱容子, 深沢真希, 錦戸雅春, 宮城京子, 仲村秀太, 田里大輔, 原永修作, 比嘉太, 藤田次郎, 宮崎哲次, 大城市子, 前田サオリ, 石郷岡美穂: 剖検例における長期 ART 患者の動脈硬化の病理学的検討, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
2. 服部純子, 椎野禎一郎, 湯永博之, 林田庸総, 吉田繁, 千葉仁志, 小池隆夫, 佐々木悟, 伊藤俊広, 内田和江, 原孝, 佐藤武幸, 上田敦久, 石ヶ坪良明, 近藤真規子, 長島真美, 貞升健志, 古賀一郎, 太田康男, 山元康之, 福武勝幸, 加藤真吾, 藤井毅, 岩本愛吉, 西澤雅子, 岡慎一, 伊部史朗, 横幕能行, 上田幹夫, 大家正義, 田邊嘉也, 渡辺香奈子, 渡邊大, 白坂琢磨, 小島洋子, 森治代, 中桐逸博, 藤井輝久, 高田昇, 木村昭郎, 南留美, 山本政弘, 松下修三, 藤田次郎, 健山正男, 杉浦互: 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
3. 椎野禎一郎, 服部純子, 湯永博之, 吉田繁, 伊藤俊広, 上田敦久, 近藤真規子, 貞升健志, 藤井毅, 横幕能行, 上田幹夫, 田邊嘉也, 渡邊大, 森治代, 藤井輝久, 南留美, 健山正男, 杉浦互: 国内感染者集団の大規模塩基配列解析 2: Subtype B の動向と微小系統群の同定, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
4. 前田サオリ, 宮城京子, 石川章子, 田里大輔, 仲村秀太, 健山正男, 藤田次郎, 仲里愛, 富永大介, 諸見牧子, 新江裕貴, 石郷岡美穂,

- 大城市子:食道癌のため嚥下困難となり認知能低下した患者の看護 —患者のニーズに寄り添った看護—, 第25回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
5. ○塩野徳史, 新ヶ江章友, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 生島嗣, 鬼塚哲郎:ゲイ向け商業施設利用者対象の質問紙調査による地域別予防啓発事業の評価に関する研究, 第25回エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
  6. 西島健, 高野操, 石坂美千代, 瀧永博之, 菊池嘉, 遠藤知之, 堀場昌英, 金田暁, 藤井毅, 内藤俊夫, 吉田正樹, 立川夏夫, 横幕能行, 藤井輝久, 高田清式, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 田邊嘉也, 満屋裕明, 岡慎一:HIV感染症の初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定しエブリコムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設臨床試験:ET study, 第25回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
  7. 仲里愛, 富永大介, 田里大輔, 宮城京子, 前田サオリ, 仲村秀太, 原永修作, 比嘉太, 健山正男, 藤田次郎:HIV 関連神経認知障害(HAND)の神経心理学的評価, 第25回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
  8. 田里大輔, 健山正男, 仲里愛, 宮城京子, 前田サオリ, 仲村秀太, 原永修作, 比嘉太, 富永大介, 藤田次郎:神経心理学的検査にて早期 HIV 関連神経認知障害(HAND)を捉える事ができた急性 HIV 感染症の2例, 第25回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京
  9. 菊池嘉, 遠藤知之, 宮城島拓人, 伊藤俊広, 中村仁美, 田邊嘉也, 上田幹夫, 横幕能行, 渡邊大, 藤井輝久, 南留美, 健山正男:多施設共同免疫学調査における HAART の有効率 2010, 第25回日本エイズ学会学術集会・総会, 2011, 東京

図1. 同居の実態調査 (あてはまるものすべて)

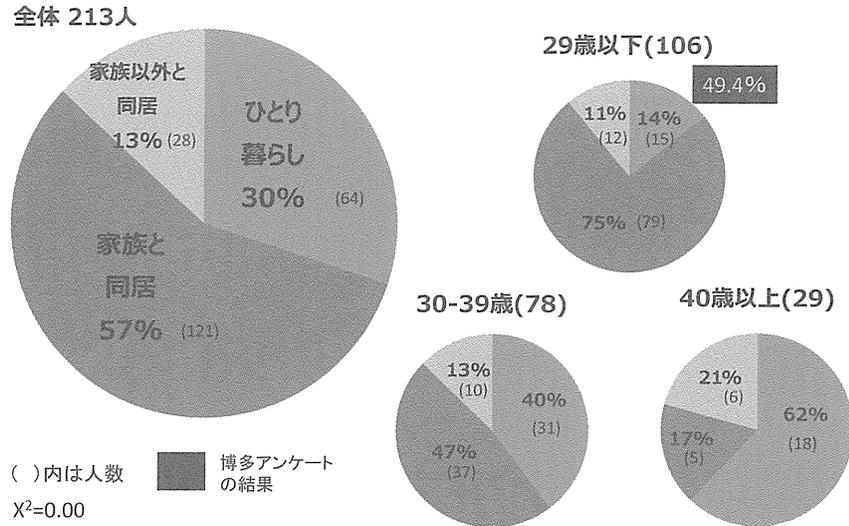


図2. 現在の雇用形態状況

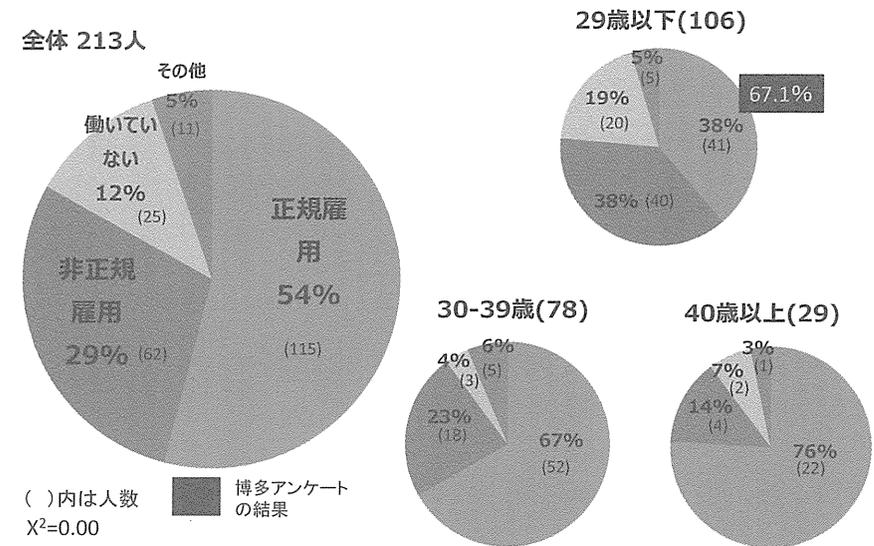


図3. 過去6か月間のゲイバー利用率

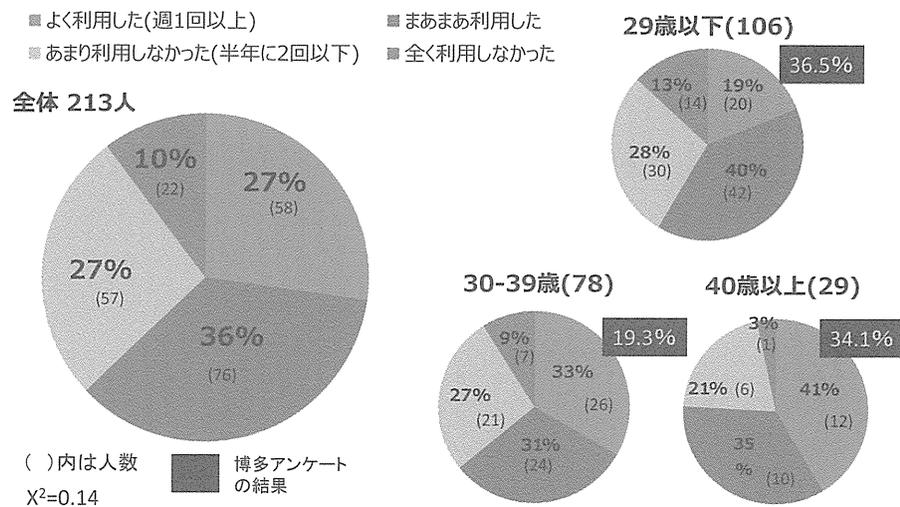


図4. 過去6か月間に利用した施設 (年代別)

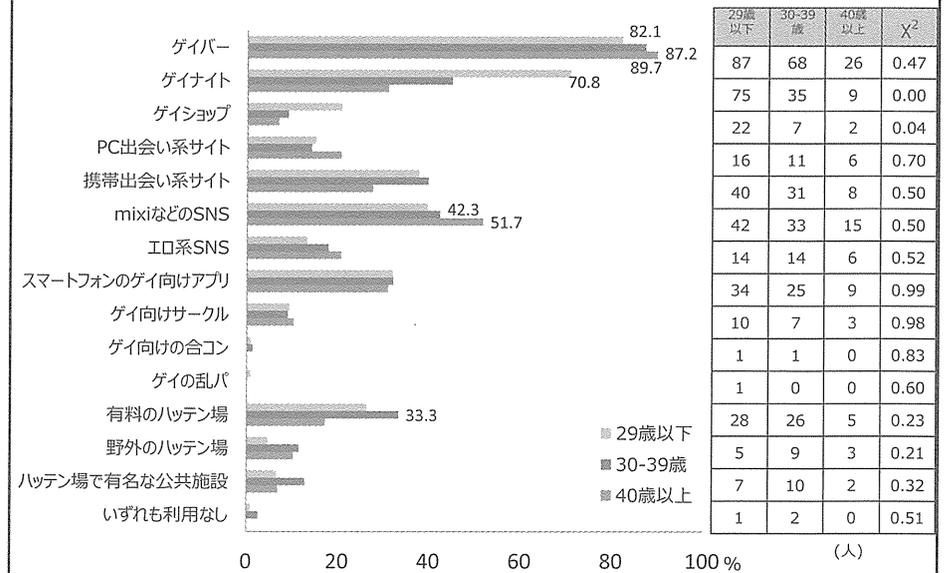


図5. HIV抗体検査の受検意識

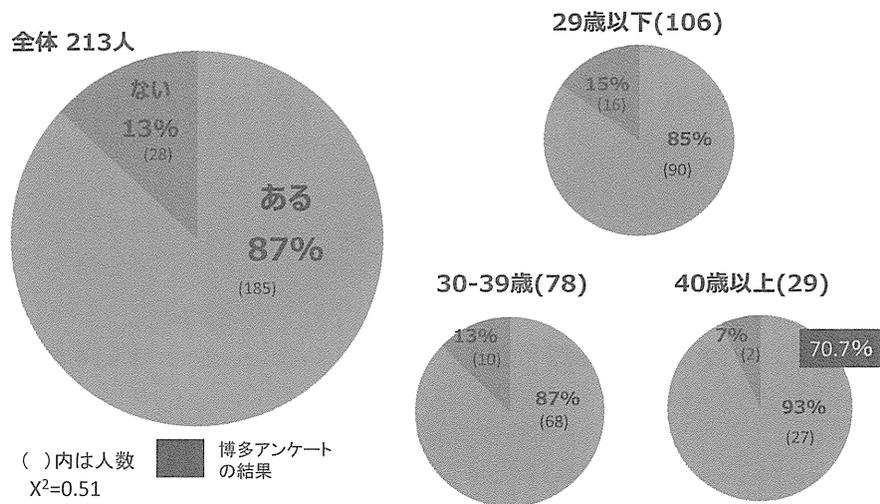


図6. HIV抗体検査受検歴

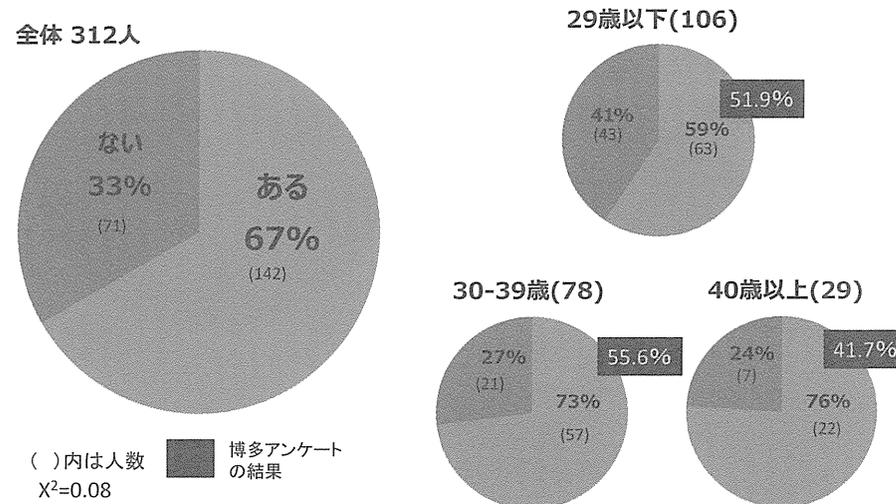


図7. HIV抗体検査を受けた場所

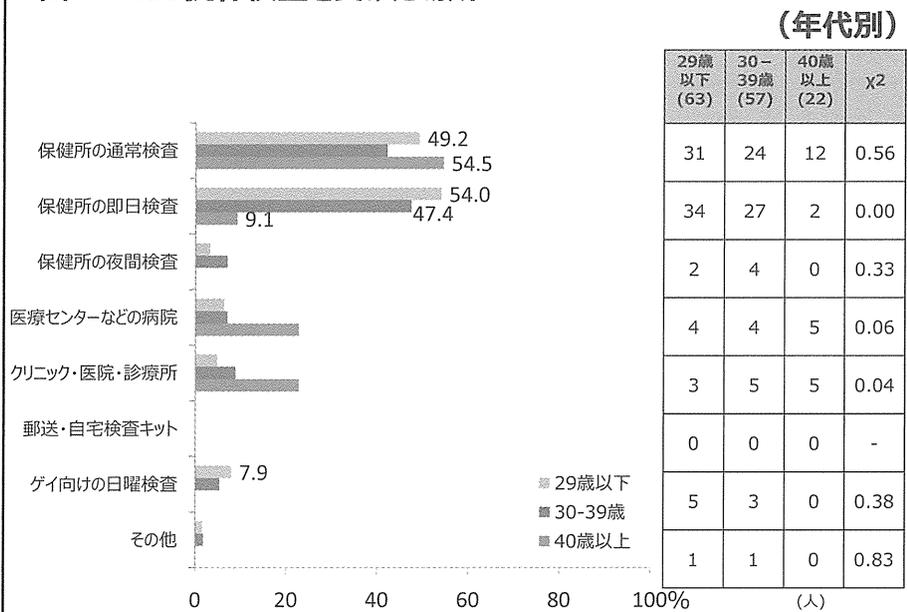


図8. 過去1年間のHIV抗体検査受検歴

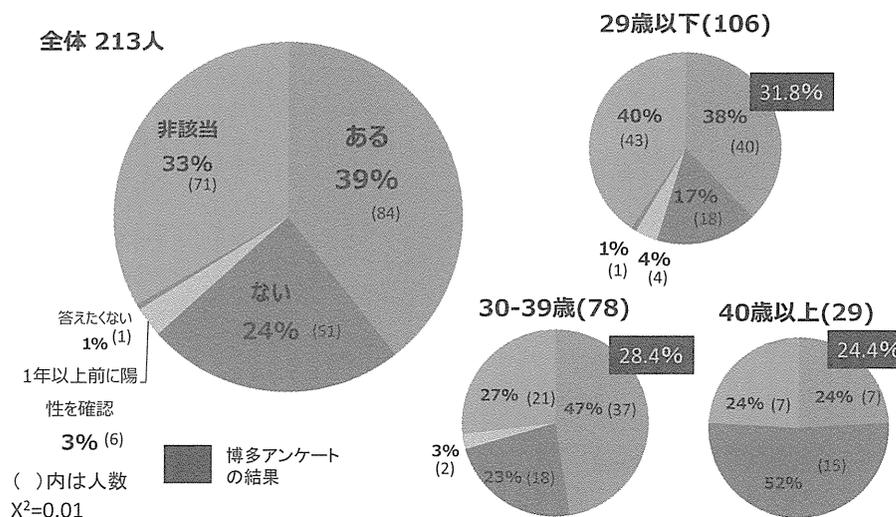


図9. 過去1年間のHIV抗体検査を受けた施設

(あてはまるものすべて)

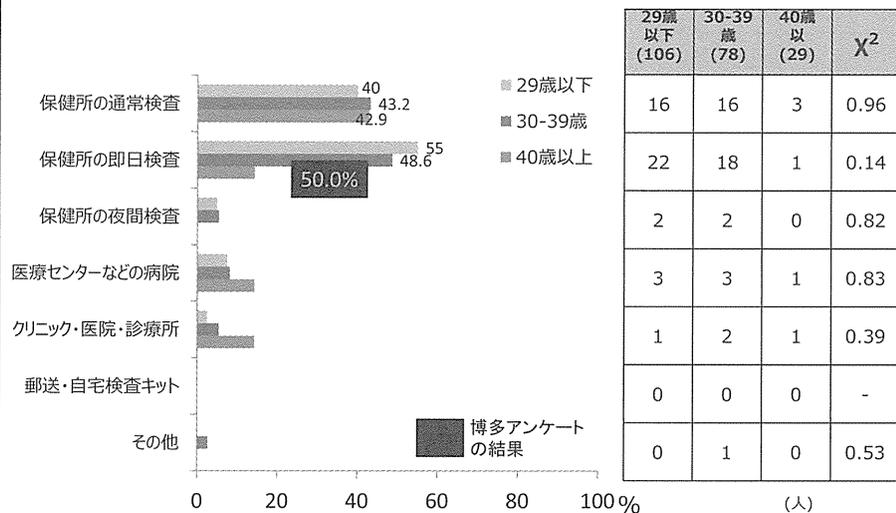


図10. 知人でHIVに感染している人はいると思うか (意識調査)

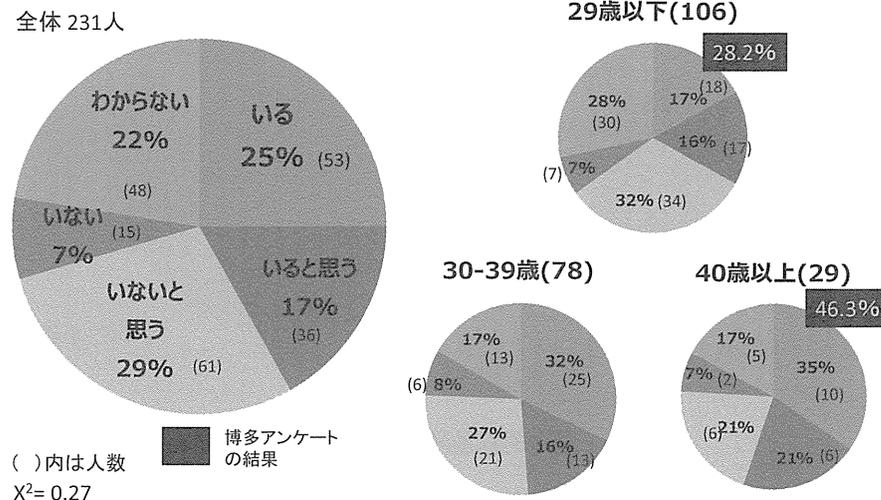


図11. 過去6か月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがあるか?

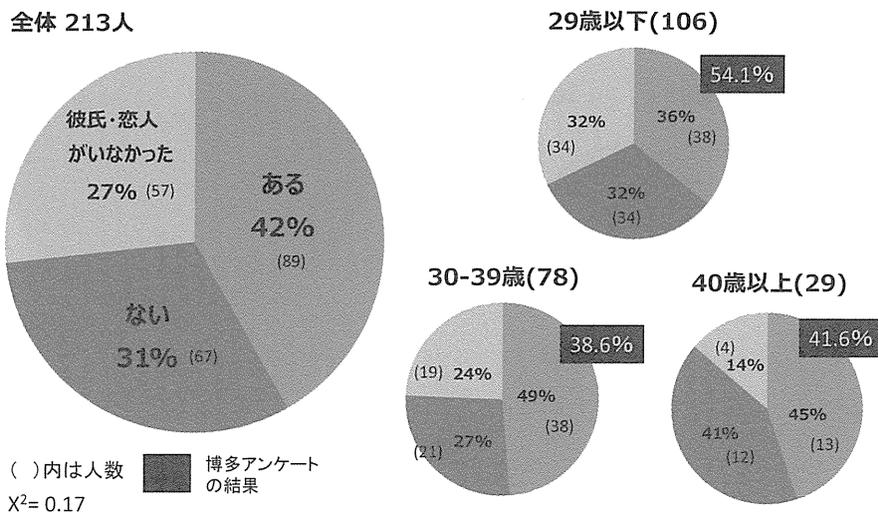


図12. 過去6か月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがあるか?

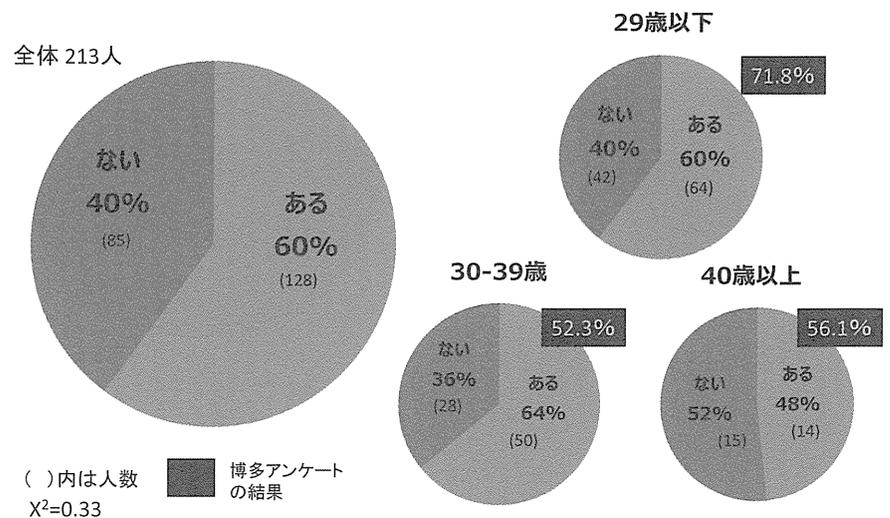


図13. 次の中で、これまでに罹患した性感染症の種類  
(あてはまるものすべて)

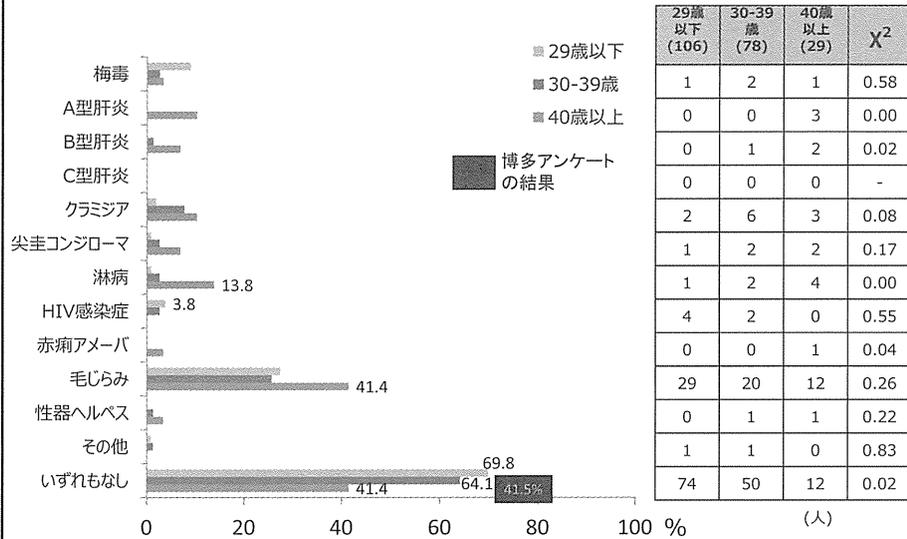


図14. セックスする前にコンドーム着用についての意識調査

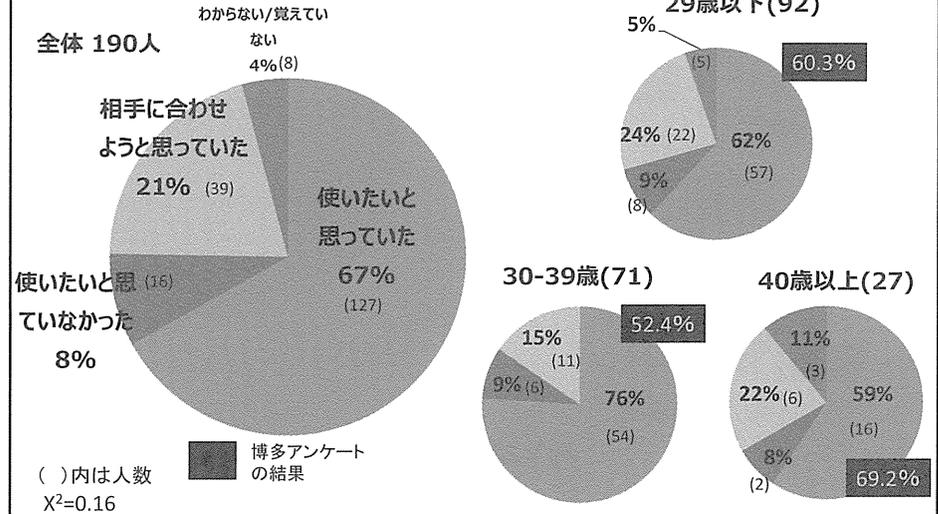


図15. アナルセックスをしたときに、コンドームを使用したか？

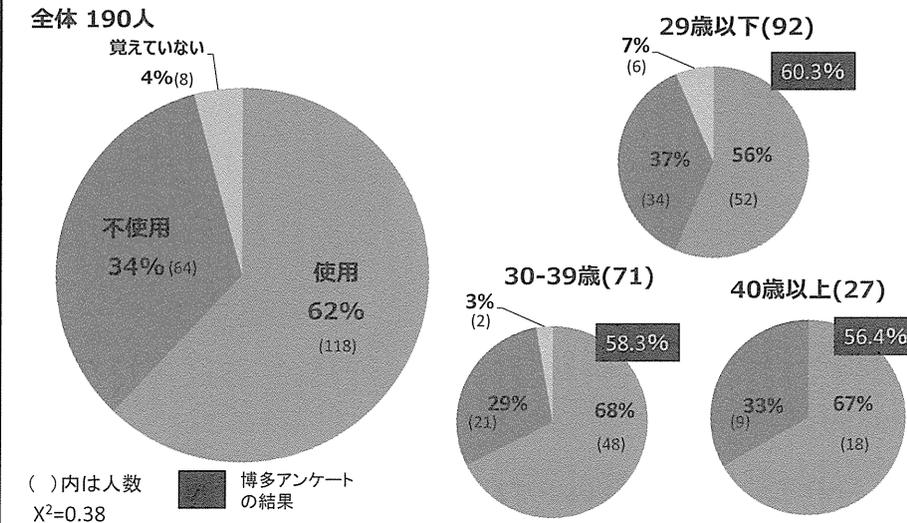


図16. コンドームやローションは手の届く範囲にあったか？

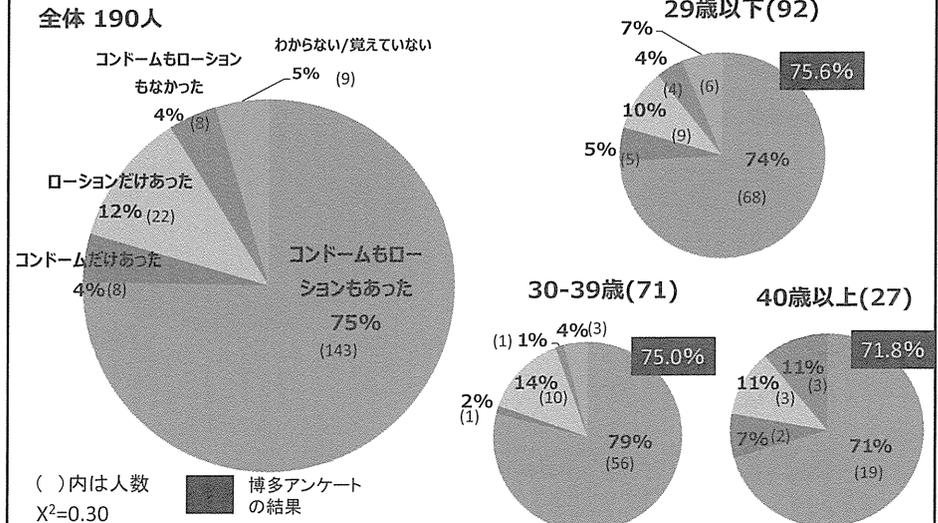


図17. 友達やセフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況

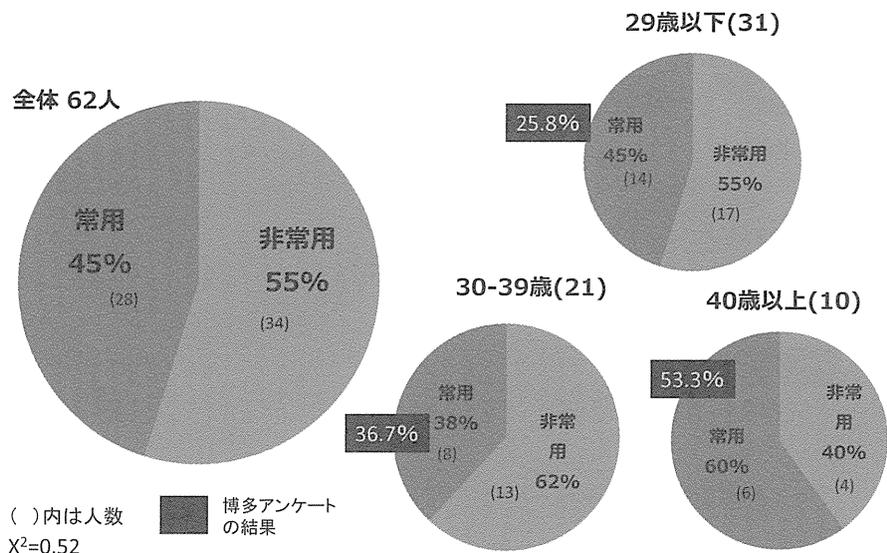


図18. その場限りの相手とのコンドーム使用状況

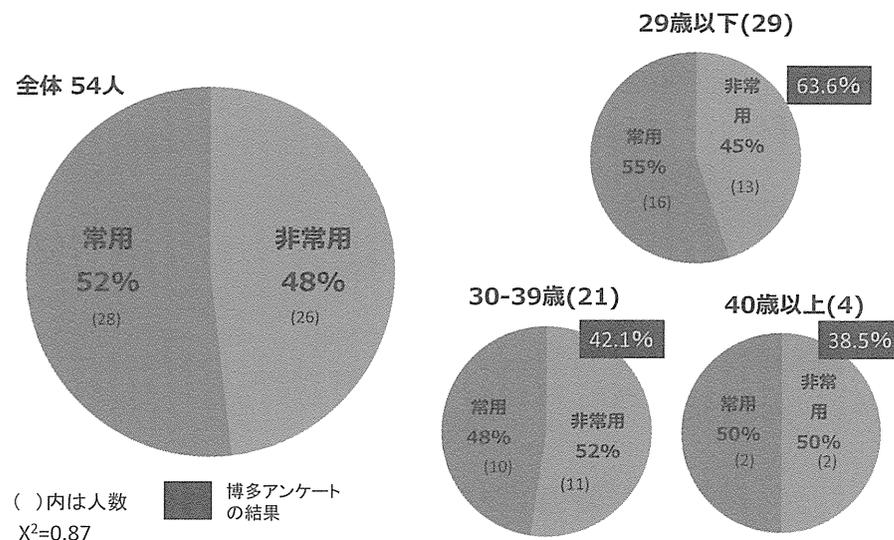


図19. 過去6ヶ月間の薬物併用経験

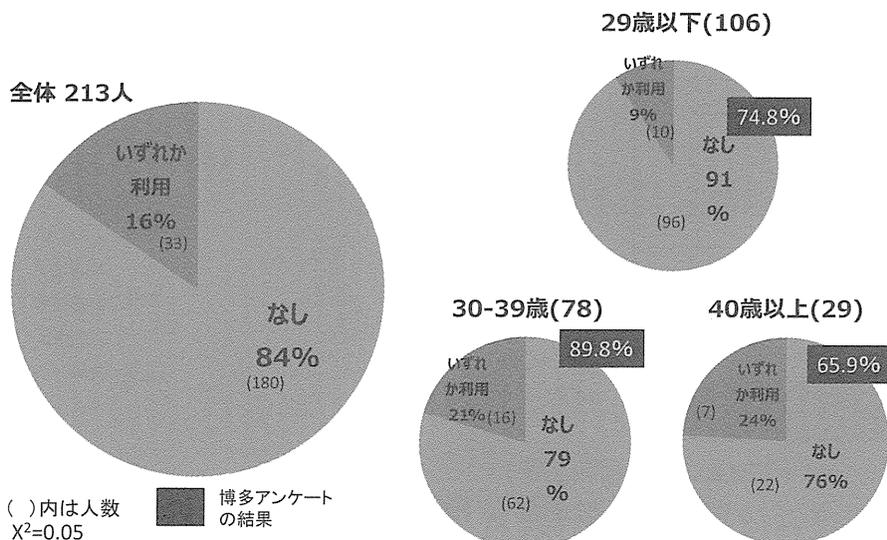


図20. 過去6ヶ月間のコンドーム購入歴

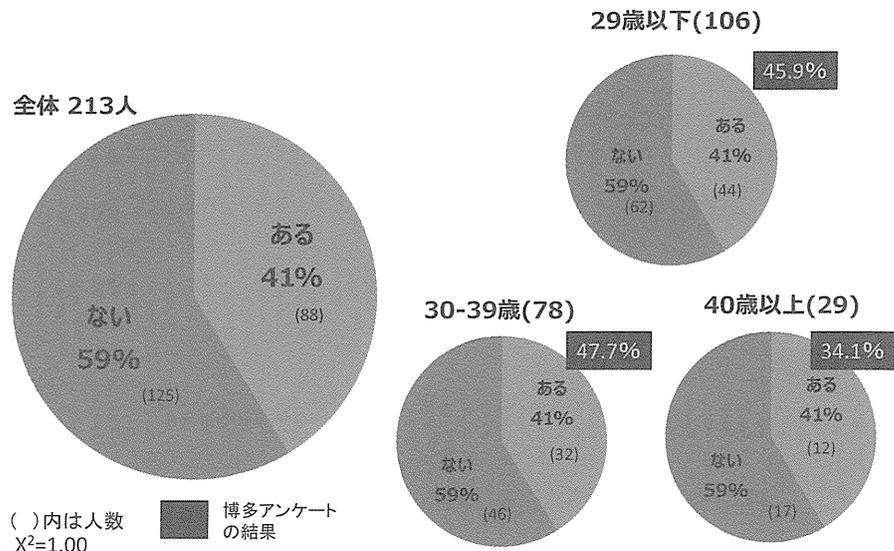


図21. 「オンラインアンケートREACH Online 2011」への回答歴

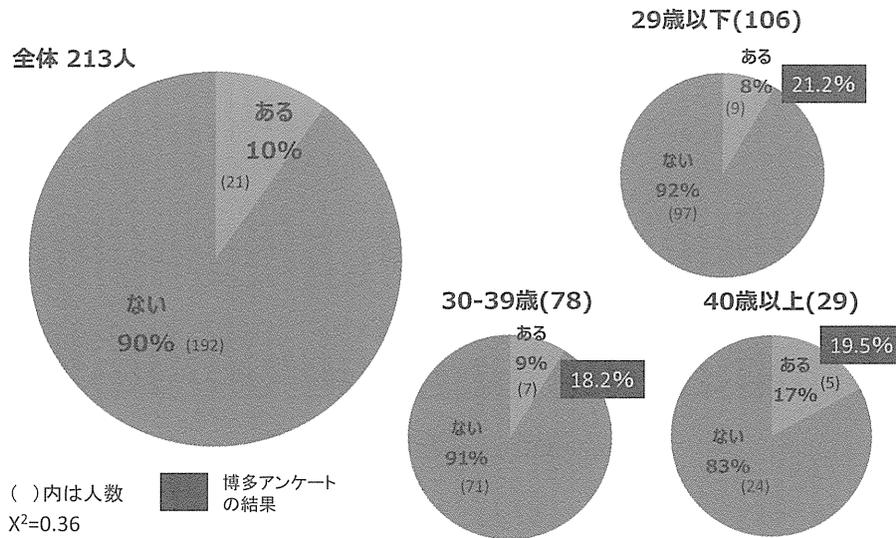


図22. mabui来場者数

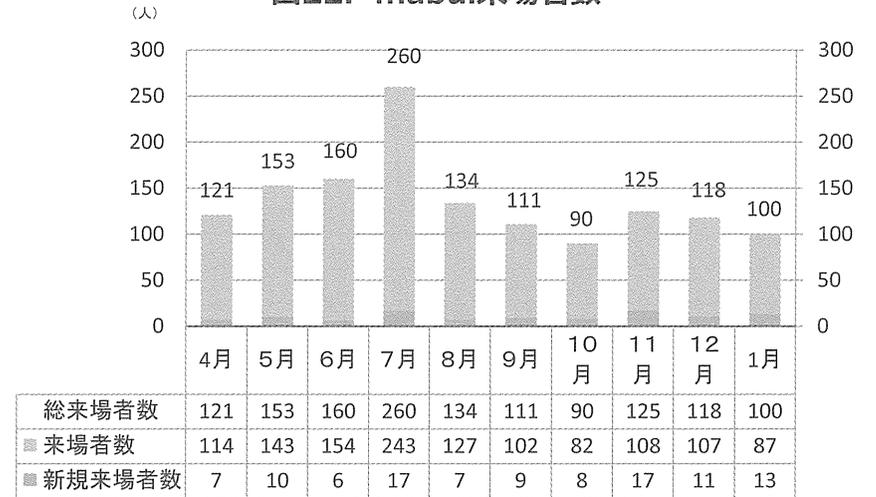


図23. オープンスペース利用状況

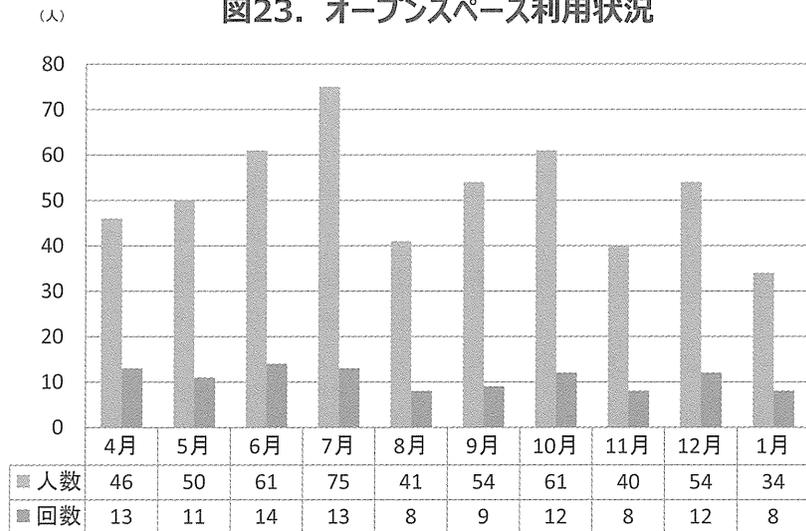


表1. エイズと「ゲイコミュニティ」

日付	テーマ	来場者
6月19日	1回目:「エイズの今」を知りたい!	15(2)
8月21日	2回目:MSN(男性とセックスする男性)って誰の事?	10(3)
10月16日	3回目:”生掘り”研究ってなんだ!?	10(0)
12月18日	4回目:「コミュニティ」はどこにある?	8(0)
2月19日	5回目:エイズをめぐるヒストリー	14(0)

\*()は新規来場者数

表2. mabuiへの誘導プログラム

日付	テーマ	来場者
5月15日	なんくる倶楽部vol.6 (セクシャルマイノリティを正しく理解する週間)	11(0)
7月17日	リョウコンvol.1(沖縄そば作り編)	21(4)
9月18日	リョウコンvol.2(沖縄夏野菜カレー編)	6(2)
11月20日	リョウコンvol.3(ケーキ編)	18(7)
1月15日	リョウコンvol.4(ムーチ編)	24(7)

\*()は新規来場者数

図24. ゲイバーへのコンドーム補充数

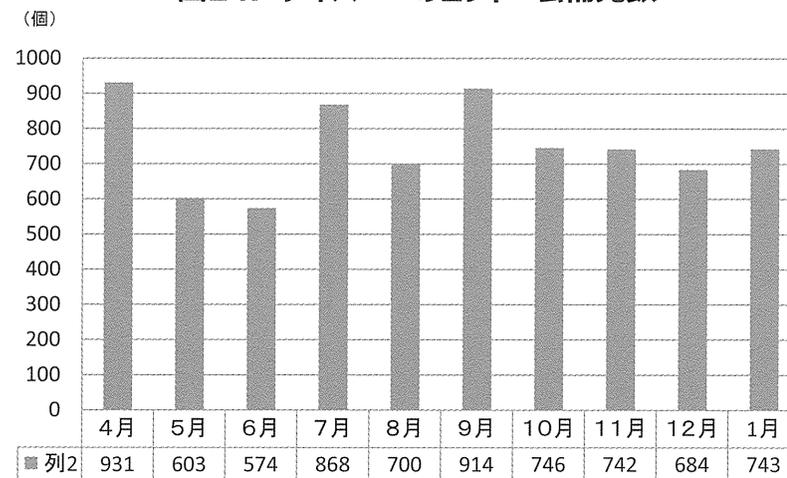


表3. 来場者が持ち帰った数

日付	Clubイベント	コンドーム	コミュニティペーパー	アンケート
7月2日	A	158	15	
10月9日	B	161	8	0
11月26日	C	143	10	
合計		562	33	0

図25. HP月別訪問者数

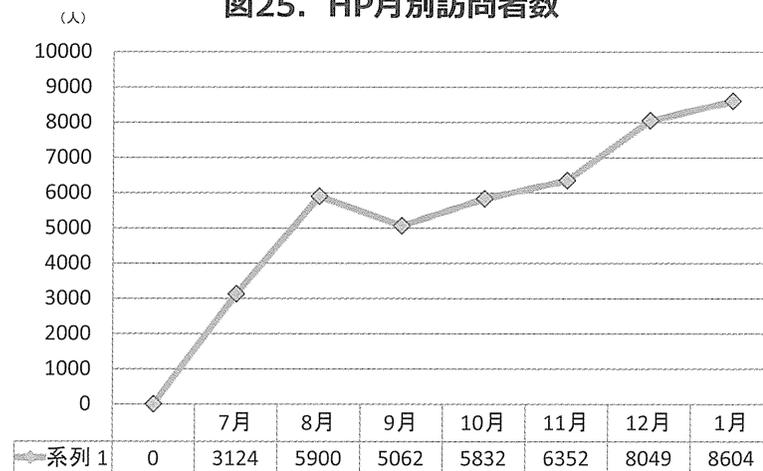


表4. スポーツ大会配布数

日付	イベント	コンドーム	コミュニティペーパー	アンケート
7月3日	テニス大会A	400	400	
10月2日	テニス大会B	200	200	○
10月23日	バドミントン大会C	120	120	○
11月20日	バレー大会B	120	120	
合計		720	720	

表5. ビーチパーティー配布数

日付	イベント	コンドーム	コミュニティペーパー
7月3日	ビーチパーティー	600	600
合計		600	600

表6. 県外沖縄系clubイベント配布数

日付	県外イベント	コンドーム	コミュニティペーパー
10月29日	イベントA	300	300
合計		300	300

図26. 県外来場者数

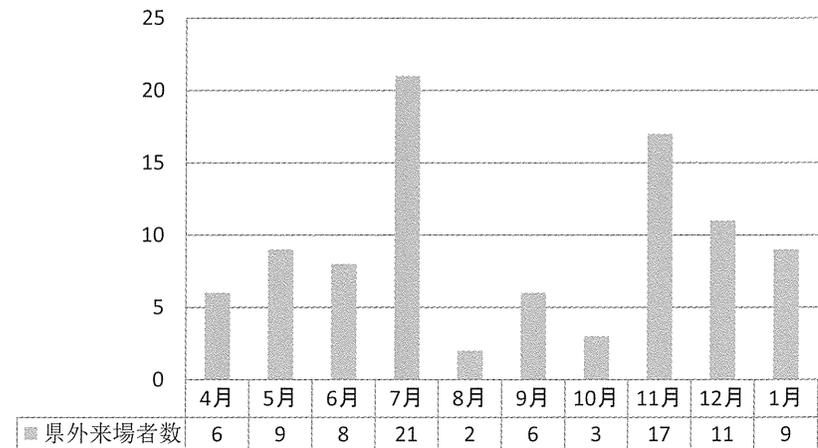


表7 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(1)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？(あてはまるものすべて)									
一人暮らし	15	14.2%	31	39.7%	18	62.1%	64	30.0%	0.00
家族と同居	79	74.5%	37	47.4%	5	17.2%	121	56.8%	
家族以外と同居	12	11.3%	10	12.8%	6	20.7%	28	13.1%	
合計	106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
現在、あなたの雇用形態は次のどれにあてはまりますか？最も近いもの1つにチェックしてください									
正規雇用	41	38.7%	52	66.7%	22	75.9%	115	54.0%	0.00
非正規雇用	40	37.7%	18	23.1%	4	13.8%	62	29.1%	
働いてない	20	18.9%	3	3.8%	2	6.9%	25	11.7%	
その他	5	4.7%	5	6.4%	1	3.4%	11	5.2%	
合計	106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
過去6カ月間に、ゲイバーをどのくらい利用しましたか？									
よく利用した(毎週1回以上)	20	18.9%	26	33.3%	12	41.4%	58	27.2%	0.14
まあまあ利用した	42	39.6%	24	30.8%	10	34.5%	76	35.7%	
あまり利用しなかった(半年に2回以下)	30	28.3%	21	26.9%	6	20.7%	57	26.8%	
全く利用しなかった	14	13.2%	7	9.0%	1	3.4%	22	10.3%	
合計	106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
次の中で過去6カ月間に利用したものはありますか？(あてはまるものすべて)									
ゲイバー	87	82.1%	68	87.2%	26	89.7%	181	85.0%	0.47
ゲイナイト	75	70.8%	35	44.9%	9	31.0%	119	55.9%	0.00
ゲイショップ	22	20.8%	7	9.0%	2	6.9%	31	14.6%	0.04
PC出会い系サイト	16	15.1%	11	14.1%	6	20.7%	33	15.5%	0.70
携帯出会い系サイト	40	37.7%	31	39.7%	8	27.6%	79	37.1%	0.50
mixiなどのSNS	42	39.6%	33	42.3%	15	51.7%	90	42.3%	0.50
エロ系SNS	14	13.2%	14	17.9%	6	20.7%	34	16.0%	0.52
スマートフォンのゲイ向けアプリ	34	32.1%	25	32.1%	9	31.0%	68	31.9%	0.99
ゲイ向けサークル	10	9.4%	7	9.0%	3	10.3%	20	9.4%	0.98
ゲイ向け合コン	1	0.9%	1	1.3%	0	0.0%	2	0.9%	0.83
ゲイの乱パ	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0.60
有料のハッテン場	28	26.4%	26	33.3%	5	17.2%	59	27.7%	0.23
野外のハッテン場	5	4.7%	9	11.5%	3	10.3%	17	8.0%	0.21
ハッテン場で有名な公共施設	7	6.6%	10	12.8%	2	6.9%	19	8.9%	0.32
いずれも利用なし	1	0.9%	2	2.6%	0	0.0%	3	1.4%	0.51

表8 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(2)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗		
	29歳以下		30-39歳		40歳以上					
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けようと思ったことはありますか？										
	ある	90	84.9%	68	87.2%	27	93.1%	185	86.9%	0.51
	ない	16	15.1%	10	12.8%	2	6.9%	28	13.1%	
合計		106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？										
	ある	63	59.4%	57	73.1%	22	75.9%	142	66.7%	0.08
	ない	43	40.6%	21	26.9%	7	24.1%	71	33.3%	
合計		106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けた場所はどこですか？(あてはまるものすべて)*1										
	保健所の通常検査	31	49.2%	24	42.1%	12	54.5%	67	47.2%	0.56
	保健所の即日検査	34	54.0%	27	47.4%	2	9.1%	63	44.4%	0.00
	保健所の夜間検査	2	3.2%	4	7.0%	0	0.0%	6	4.2%	0.33
	医療センターなどの病院	4	6.3%	4	7.0%	5	22.7%	13	9.2%	0.06
	クリニック・医院・診療所	3	4.8%	5	8.8%	5	22.7%	13	9.2%	0.04
	郵送・自宅検査キット	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	ゲイ向けの日曜検査	5	7.9%	3	5.3%	0	0.0%	8	5.6%	0.38
	その他	1	1.6%	1	1.8%	0	0.0%	2	1.4%	0.83
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？										
	ある	40	37.7%	37	47.4%	7	24.1%	84	39.4%	0.01
	ない	18	17.0%	18	23.1%	15	51.7%	51	23.9%	
	1年以上前に陽性を確認	4	3.8%	2	2.6%	0	0.0%	6	2.8%	
	答えたくない	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	
	非該当	43	40.6%	21	26.9%	7	24.1%	71	33.3%	
合計		106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けた場所はどこですか？(あてはまるものすべて)*2										
	保健所の通常検査	16	40.0%	16	43.2%	3	42.9%	35	41.7%	0.96
	保健所の即日検査	22	55.0%	18	48.6%	1	14.3%	41	48.8%	0.14
	保健所の夜間検査	2	5.0%	2	5.4%	0	0.0%	4	4.8%	0.82
	医療センターなどの病院	3	7.5%	3	8.1%	1	14.3%	7	8.3%	0.83
	クリニック・医院・診療所	1	2.5%	2	5.4%	1	14.3%	4	4.8%	0.39
	郵送・自宅検査キット	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	その他	0	0.0%	1	2.7%	0	0.0%	1	1.2%	0.53

\*1生涯のHIV検査受検経験のある人を分析対象としたため総数が異なる

\*2過去1年間のHIV検査受検経験のある人を分析対象としたため総数が異なる

表9 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(3)

	年齢階級						合計	Pearson カイ 2 乗	
	29歳以下		30-39歳		40歳以上				
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？									
いる	18	17.0%	25	32.1%	10	34.5%	53	24.9%	0.27
いると思う	17	16.0%	13	16.7%	6	20.7%	36	16.9%	
いないと思う	34	32.1%	21	26.9%	6	20.7%	61	28.6%	
いない	7	6.6%	6	7.7%	2	6.9%	15	7.0%	
わからない	30	28.3%	13	16.7%	5	17.2%	48	22.5%	
合計	106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
過去6カ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？									
ある	38	35.8%	38	48.7%	13	44.8%	89	41.8%	0.17
ない	34	32.1%	21	26.9%	12	41.4%	67	31.5%	
彼氏・恋人がいなかった	34	32.1%	19	24.4%	4	13.8%	57	26.8%	
合計	106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
過去6カ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？									
ある	64	60.4%	50	64.1%	14	48.3%	128	60.1%	0.33
ない	42	39.6%	28	35.9%	15	51.7%	85	39.9%	
合計	106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
次の中で、これまでにかかったことがある性感染症はありますか？（あてはまるものすべて）									
梅毒	1	0.9%	2	2.6%	1	3.4%	4	1.9%	0.58
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	3	10.3%	3	1.4%	0.00
B型肝炎	0	0.0%	1	1.3%	2	6.9%	3	1.4%	0.02
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
クラミジア	2	1.9%	6	7.7%	3	10.3%	11	5.2%	0.08
尖圭コンジローマ	1	0.9%	2	2.6%	2	6.9%	5	2.3%	0.17
淋病	1	0.9%	2	2.6%	4	13.8%	7	3.3%	0.00
HIV感染症	4	3.8%	2	2.6%	0	0.0%	6	2.8%	0.55
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%	1	0.5%	0.04
毛じらみ	29	27.4%	20	25.6%	12	41.4%	61	28.6%	0.26
性器ヘルペス	0	0.0%	1	1.3%	1	3.4%	2	0.9%	0.22
その他	1	0.9%	1	1.3%	0	0.0%	2	0.9%	0.83
いずれもなし	74	69.8%	50	64.1%	12	41.4%	136	63.8%	0.02

表10 G-Com Quest (Gay Community-based Questionnaire)年齢別分析(4)

	年齢階級						合計	Pearson カイ2乗		
	29歳以下		30-39歳		40歳以上					
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？										
	ある	103	97.2%	76	97.4%	29	100.0%	208	97.7%	0.66
	ない	3	2.8%	2	2.6%	0	0.0%	5	2.3%	
合計		106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？										
	ある	92	86.8%	71	91.0%	27	93.1%	190	89.2%	0.50
	ない	14	13.2%	7	9.0%	2	6.9%	23	10.8%	
合計		106	100.0%	78	100.0%	29	100.0%	213	100.0%	
あなたは、これまでにコンドームを使わずに男性とアナルセックスをしたことがありますか？*1										
	ある	73	79.3%	62	87.3%	23	85.2%	158	83.2%	0.38
	ない	19	20.7%	9	12.7%	4	14.8%	32	16.8%	
合計		92	100.0%	71	100.0%	27	100.0%	190	100.0%	
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか？*1										
	現在から過去6ヵ月間の間	79	85.9%	56	78.9%	21	77.8%	156	82.1%	0.44
	過去6ヵ月間から過去1年間の間	4	4.3%	2	2.8%	2	7.4%	8	4.2%	
	1年以上前	9	9.8%	12	16.9%	3	11.1%	24	12.6%	
	覚えていない	0	0.0%	1	1.4%	1	3.7%	2	1.1%	
合計		92	100.0%	71	100.0%	27	100.0%	190	100.0%	
一番最近にアナルセックスをした相手はどれにあてはまりますか？*1										
	彼氏や恋人	40	43.5%	25	35.2%	13	48.1%	78	41.1%	0.55
	友達やセクフレ	31	33.7%	25	35.2%	10	37.0%	66	34.7%	
	その場限りの相手	21	22.8%	21	29.6%	4	14.8%	46	24.2%	
合計		92	100.0%	71	100.0%	27	100.0%	190	100.0%	
そのときセックスする前にコンドームについてどのように思っていましたか？*1										
	使いたいと思っていた	57	62.0%	54	76.1%	16	59.3%	127	66.8%	0.16
	使いたいと思っていなかった	8	8.7%	6	8.5%	2	7.4%	16	8.4%	
	相手に合わせようと思っていた	22	23.9%	11	15.5%	6	22.2%	39	20.5%	
	わからない/覚えていない	5	5.4%	0	0.0%	3	11.1%	8	4.2%	
合計		92	100.0%	71	100.0%	27	100.0%	190	100.0%	
そのときの相手とアナルセックスをしたときに、コンドームを使用しましたか？*1										
	使用	52	56.5%	48	67.6%	18	66.7%	118	62.1%	0.38
	不使用	34	37.0%	21	29.6%	9	33.3%	64	33.7%	
	覚えていない	6	6.5%	2	2.8%	0	0.0%	8	4.2%	
合計		92	100.0%	71	100.0%	27	100.0%	190	100.0%	
そのときコンドームやローションは手の届く所にありましたか？*1										
	コンドームもローションもあった	68	73.9%	56	78.9%	19	70.4%	143	75.3%	0.30
	コンドームだけあった	5	5.4%	1	1.4%	2	7.4%	8	4.2%	
	ローションだけあった	9	9.8%	10	14.1%	3	11.1%	22	11.6%	
	コンドームもローションもなかった	4	4.3%	1	1.4%	3	11.1%	8	4.2%	
	わからない/覚えていない	6	6.5%	3	4.2%	0	0.0%	9	4.7%	
合計		92	100.0%	71	100.0%	27	100.0%	190	100.0%	

\*1生涯のアナルセックス経験がある人を分析対象としたため総数が異なる